

散歩道

パセオ

楽しみながら良い汗をかいてみませんか!!首都圏の水瓶の地に、すばらしいフィールドを用意しました。新しい人生の出会いと感動、そしてときめきの日々をどうぞ。

これは首都圏、なかんずく利根川流域に住む団塊の世代向けライフスタイル提案書の一節。フィールドは群馬県みなかみ町藤原集落の元・入会山21町歩。プランは古道探訪とその道普請、スキ草原の茅刈りや野焼き、古民家・神社の茅葺屋の修復作業などから好きなものを選択。地元住民と町役場のお世話により、既に当地で活動を始めている森林塾 青水の仲間と一緒に、のんびり気長に協働作業を楽しんでもらう仕組み。

どのプランも完成に長期を要するか、エンドレスな内容なので、地元には通年・反復・滞在型の新しい観光需要をもたらすことになる。また、参加者には新しい出会いの機会が、同時にフィールドには新しい入会いの場が

合言葉は「飲水思源」



清水 英毅

森林塾 青水 塾長
扶桑レクセル 監査役



40年ぶりの野焼き

形成される。単なる史跡散策やグルメツアーとは異なる参画・交流・体験型の、いわば“アクション・エコツアー”のお勧めである。憩い・やすらぎ・健康+ときめき・やりがい・生きがい指向の、これぞ団塊の世代にふさわしい新しい旅ではないか。

“藤原”は坂東太郎・利根川の水源地。生命の水と、降るような星空、そして水河期草原性生物のふる里。日本人の心の原風景ともいふべきこの奥里山の隠れた宝物を発掘し、典型的な過疎の地を地域丸ごと博物館として活性化したい。森林塾 青水による「藤原地域資源活用調査事業」の結論の一つが冒頭の提案であった。

水瓶の素は雨と雪。大自然の恵みに頭を垂れ、先人の知恵を継承、万物とともに生きる。その心は「飲水思源」。フィールドでともに良い汗をかき、旨い酒を酌み交わす日を楽しみに。

<http://www.fiberbit.net/user/sinrinjyuku/>